

令和7年9月議会(決算常任委員会教育民生分科会)の質問質疑に対する答弁要旨

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
上 麻里 (政友クラブ)	<p>○図書館の利用実績について ①前年度と比較して利用実績が減少しているが、電子図書館の影響か。</p> <p>②電子図書館とは別に、紙の本に対するニーズがあることが理解できた。</p>	<p>(図書館長) ①システム更新に伴う臨時休館があり、開館日数が減っていることが原因。また、電子図書館は学校での利用が多く、一般利用者の増加が課題である。</p>
上 麻里 (政友クラブ)	<p>○現図書館の利用環境改善について ①机や椅子の配置を増やしてはどうか。</p> <p>②トイレは洋式化されているのか。</p> <p>③新図書館ができるまで現図書館を快適に利用できるよう、費用対効果を考えたうえで予算のあり方を議員で考えたい。</p>	<p>(図書館長) ①場所に余裕がなく、物理的に難しい。</p> <p>②各階に必ず洋式はあるが和式もある。</p>
山田 知美 (新風創志会)	<p>①座席数を増やす、中学生にも自習室の利用を認めるなど、快適に、使いやすくなるように少し柔軟に考えてほしい</p>	
中川 雅晶 (公明党)	<p>①新図書館でも活用できるもの、防犯上、防災上に関わるものに関しては取り組むべきと考える。ハードに関しては、何を優先するのか、どの程度まで予算をかけるのか議論は必要。</p>	
笹岡 秀太郎 (政友クラブ)	<p>①新図書館ができるまでは、現図書館は市民が喜んで利用できる施設でないといけない。現図書館に対する予算について、どう考えているのか。</p> <p>②現図書館を生き生きと活用できる施設にする、そういう姿勢を市民に示すべき(意見)</p>	<p>(図書館長) ①ここ数年、電子図書館導入、移動図書館車の更新、ICタグ導入による貸出・返却の利便性向上など、ソフト面を充実させてきた。ハード面の整備は、躯体の大きさも限られており難しい。今後もソフト面を充実させていきたい。</p>
笹岡 秀太郎 (政友クラブ)	<p>○移動図書館について ①「みなと号」(平成20年購入)の更新予定は。</p> <p>②現在、91箇所を巡回しているが、3台になってさらに増えるのか。</p> <p>③熱中症対策のため一部運休とあるが、今年はどうか。</p> <p>④熱中症が懸念されるような暑い時期は、運行計画に含めない方がいいと考える(意見)。</p>	<p>(図書館長) ①来年2月ごろ更新予定。大きさは現在の3.5トンの大型車から、2トンの中型車に変更となる。先日寄贈された小型の「くじら号」とあわせて3台体制になる。</p> <p>②従来の「かもめ号」「みなと号」で決まった停車場を巡回し、くじら号は子育て支援施設などをデマンド型で派遣予定である。</p> <p>③数回、午後の巡回を運休している。</p>